

Title	約千五百年前の種子發芽す
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1937
Jtitle	史学 Vol.16, No.3 (1937. 11) ,p.44(372)- 44(372)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白録
Genre	Journal Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0044">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19371100-0044</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 約千五百年前の種子發芽す

先般の日吉加瀬山古墳發掘調査の結果は幾多の新事實に恵まれて興味ある話題を投じてゐるが、去る六月十五日夜の座談會席上で柴田氏から餘興の如くに發表された(三田評論本年七月號十六頁以下參照)粘土槨内から採集した種子が自然に發芽した驚異的事實は、次いで六月二十日の報知新聞に大々的に報道せられたが、この事實はロイタル特電により翌日のロンドン・タイムス紙上に掲載されたので、その記事の寫を添へて早速慶大總長宛に英國サウサンプトンの帝室御用園藝師ツীগード商會 (Toogood & Sons, Ltd., Seedsmen To H. M. the King, Southampton) 支配人から左の如き六月二十四日附照會の手紙が到着した。

We were most interested in the report, as mentioned on the attached copy of newscutting, and beg your assistance in the matter, in the hope that we may learn the name of the seeds and, if at all possible, procure a few of them. This request is purely for our own experimental purposes and interest in such matters.

我等はその機敏なのに驚かされた。さうして六月二十一日附タイムスの記事には末尾の所に誤謬あるも次の如きものである。

Seeds discovered in a clay coffin in a 1,500 year-old grave, which was unearthed at Hi-yoshi, Japan, recently by members at the Historical Society of Keio University, germinated on Saturday after experiments lasting six days. - Reuter.

之に關する學術的記事は、追つて刊行さるべき調査報告書に俟つべきであるが、該種子は當時大給尹氏が單獨に白山塚後圓部の粘土槨内に發見して直に硝子器内に收め放置してあつたのが、日吉より三田に移して包装を解除した際自然に發芽してゐたもので、岡村周諦氏の鑑定を仰いだ際三子葉あることが認められた。その後枯死せんとする虞れがあつたので、之を日吉の慶大豫科植物學教室に委託して栽培することとなり、その移植後、粘土槨の土壤中から、最初に採收した禾本科植物の種子の外、裸子植物の種子二十二個が發見せられ、岡村博士の手で比較研究の結果、發芽植物と全く同一のものであることが確められたのである。該種子はツータンカーモン王陵出土の種子發芽の場合とは違ひ、最初から少しも學者の手を離れてゐないのであるから、絶對的信賴性と確實性が置かれる譯である。この植物は杉であつて、元氣よく生育中である。之によつて杉の種子の發芽力を一年位とする從來の説が壊された上に、その子葉も普通植物學の本にある様に双子葉ではなく三子葉であることが確められたのである。これを機會にすべての學問について再検討を要するものが少なくないことを思はしめる。(間崎万里)